

事業**新幹線駅を軸とした“移住・定住促進”広域連携プロモーション事業について****■事業の経過**

新幹線駅を基軸としたまちづくりについて、昨年7月から小山市との連携を模索し、担当レベルでの協議を開始、地方創生推進交付金を活用し移住定住事業を連携して行うことで調整を進めた。8月の内閣府の事前相談会を経て、9月に国に申請を行い、11月に内示、12月に交付決定（事業費15,000千円）を受けた。

1月11日に本年度事業の委託業者を選定するためのプロポーザルを行い、現在、契約内容について協議中となっている。

■事業の概要

那須塩原市、小山市は栃木県の北部、南部に位置し、それぞれ定住自立圏を形成する中心市として地域の中心的役割を担っているが、人口減少社会の進展に伴い人口流出の抑制（定住促進）と人の流れの創出（移住促進）が必要不可欠となっている。

両市とも新幹線（東北新幹線）が停車するまちとして、「新幹線による東京通勤」を一つの強みとして、東京圏の若年層（生産年齢人口層）をターゲットとしたシティプロモーションを目指していることから、新幹線を軸とした移住・定住促進のためのプロモーションを相互に連携し、効果的かつ効率的に展開していくものである。（詳細は別紙のとおり）

■「とちぎの南都・北都」移住・定住促進宣言セレモニーの開催

● 目的

本事業の意義や目的、目指すべき方向性等について、「宣言」を公表、市民や周辺地域に周知し、賛同・参画を得るため。

● 内容

・『とちぎの「南都」・「北都」移住・定住宣言』の公表、署名

※「宣言」については、共同宣言（声明）として、両市広報紙・ホームページ、ポスター、チラシ等に掲載し周知を図る

・とちぎの「南都」・「北都」移住・定住促進事業説明

・森谷真理氏によるビデオメッセージ

※森谷真理氏：小山評定ふるさと大使、オーストリア リンツ州立歌劇場
（所在：リンツ市・那須塩原市の姉妹都市）専属歌手

● 出席者 市議会議員、市民、関係団体の代表者等（約150人）

● 日時・会場 平成29年1月20日（金）午前10時30分～11時30分
小山市立文化センター

新幹線駅を軸とした“移住・定住促進”広域連携プロモーション事業

1. 事業の概要

小山市及び那須塩原市は、栃木県の南部、北部に位置し、同県の「南都」と「北都」として、それぞれが定住自立圏を形成する中心市となり、地域の中心的な役割を担っている。

しかしながら、我が国は人口減少社会に入り、民間の有識者会議「日本創生会議」が全国の基礎自治体の人口減少問題に警鐘を鳴らしたように、地方圏の基礎自治体の将来は極めて厳しいものと予想されている。

このような状況を踏まえ、大都市圏への人口流出を食い止め、地方圏への人の流れを創出していくためには、市町村の枠にとらわれず、広域的な連携により、機能を補完しながら、連携して移住・定住促進に取り組むことが必要不可欠となっている。

両市とも、新幹線が停車するまちとして、「新幹線による東京通勤」を一つの強みとし、東京圏の若年層（生産年齢人口層）をターゲットとしたプロモーションを行っており、今回、新幹線駅を軸とした移住・定住促進のためのプロモーション事業を連携して効果的かつ効率的に展開し、移住・定住人口の増加に取り組むこととしたものである。

2. 事業期間

地方創生推進交付金の採択を受け 3 カ年事業（H28-H30）として実施

3. 事業内容

【平成 28 年度】

● 新幹線駅を活用した移住・定住促進のための事業戦略策定

(ア) 戦略の期間 平成 28 年度～平成 30 年度

(イ) 戦略の目的

「とちぎの南都・小山」「とちぎの北都・那須塩原」が東京駅から新幹線で1時間圏内という近接地にあり、ヒト・モノの交流、日帰り旅行などが容易な地域であることを東京圏に訴求、「小山駅」及び「那須塩原駅」の認知度を高め、「心理的な距離」を短縮（行ってみたい、行きやすいという印象を持ってもらう）し、通勤、通学者の増加に加え、普段は東京圏で働き週末は「とちぎの南都・北都」で過ごす、あるいは反対に「とちぎの南都・北都」に住んで働き、週末は「都市観光」を楽しむために東京圏で過ごすなど、多様なライフスタイルを提案することにより、東京圏との新幹線駅を中心とした地域のヒト・モノの交流を促進することを目的とする。

(ウ) 策定体制

民間委員、学識委員、行政委員、アドバイザーにより策定会議を構成
(現在人選中：16名で構成予定)

(エ) 策定スケジュール

第 1 回 2 月上旬 第 2 回 2 月下旬 第 3 回 3 月中旬

● **小山市・那須塩原市連携 P R 事業**

(ア) 事業の概要

上記戦略により「小山駅」及び「那須塩原駅」の認知度を高め、移住・定住を促進するための P R イベント等による情報発信を行う。

(イ) 本年度の事業内容

駅構内のデジタルサイネージや W E B サイトを利用した効果的な広告・P R、首都圏主要駅（新宿駅、東京駅）での P R イベントを行う予定（現在、プロポーザルで選定した業者と契約内容を調整中）

● **平成 28 年度予算 15,000 千円（戦略策定 5,000 P R 事業 10,000）**

【平成 29 年度～平成 30 年度】

来年度以降の事業については、戦略の中で具体的な事業計画を立案する。

4. 「とちぎの南都・北都」移住・定住促進宣言セレモニーの開催

● 目的

本事業の意義や目的、目指すべき方向性等について、「宣言」を公表し、市民や周辺地域に周知し、賛同・参画を得るため。

● 内容

・『とちぎの「南都」・「北都」移住・定住宣言』の公表、署名

※「宣言」については、共同宣言（声明）として、両市広報紙・ホームページ、ポスター、チラシ等に掲載し周知を図る

・とちぎの「南都」・「北都」移住・定住促進事業説明

・森谷真理氏（小山評定ふるさと大使）によるビデオメッセージ

● 出席者 市議会議員、市民、関係団体の代表者等（約 150 人）

● 日時・会場 平成 29 年 1 月 20 日（金）10 時 30 分～11 時 30 分

小山市立文化センター

小山市・那須塩原市新幹線駅を軸とした“移住・定住促進”広域連携プロモーション事業
とちぎの「南都」・「北都」移住・定住促進宣言セレモニー

次 第（案）

日時 平成 29 年 1 月 20 日（金）午前 10 時 30 分～11 時 30 分
会場 小山市立文化センター 小ホール

1. 開 会
2. 小山市歌・那須塩原市歌斉唱
3. 小山市長あいさつ
4. 那須塩原市長あいさつ
5. 小山市議会議長あいさつ
6. 那須塩原市議会議長あいさつ
7. 栃木県総合政策部長あいさつ
8. 来賓紹介
9. 宣言及び署名
10. 記念撮影
11. とちぎの「南都」・「北都」移住・定住促進事業説明
12. 小山評定ふるさと大使
那須塩原市友好都市 オーストリア・リンツ州立劇場専属歌手
森谷 真理氏によるビデオメッセージ
13. 閉 会



とちぎの「南都」・「北都」移住・定住促進宣言

栃木県の南部に位置する小山市と、栃木県の北部に位置する那須塩原市は、それぞれ「小山地区定住自立圏」及び「那須地域定住自立圏」を形成し、その中心市としての役割を担うとともに、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、国と一体となった地方創生に取り組んでいるところである。

このようなことから、小山市、那須塩原市は、ここに、とちぎの「南都」・とちぎの「北都」を宣言するとともに、両市ひいては両圏域の永続的な発展、移住・定住人口の増加を図るため、圏域を超えた広域的な連携により、新幹線駅を軸に、自然、歴史・文化、観光、さまざまな地域資源を活用したプロモーションを展開し、移住・定住促進に取り組むことを宣言する。

平成 29 年 1 月 20 日

小山市長

那須塩原市長